



2023年7月14日

各位

会社名 and factory 株式会社
代表者名 代表取締役社長 青木 倫治
(コード番号：7035 東証プライム)
問い合わせ先 取締役 蓮見 朋樹
TEL. 03-6712-7646

2023年8月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月14日に公表いたしました、2023年8月期（2022年9月1日～2023年8月31日）の業績予想につきまして、以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2023年8月期通期業績予想の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,140	百万円 100	百万円 68	百万円 64	円 銭 6.50
今回修正予想（B）	2,940	130	97	73	6.71
増減額（B－A）	△200	30	29	9	0.21
増減率（％）	△6.4	30.0	43.4	15.2	3.23
（参考）前期実績 （2022年8月期）	2,833	66	△144	△350	△35.57

2. 修正の理由

マンガ事業において、各種キャンペーン施策が奏功したことやメディア化作品の牽引により新規ユーザーの流入及び継続率が上昇した結果、MAUは高水準で推移しており、課金売上が増加したことで既存マンガアプリは堅調に推移しております。一方、期初にWebtoon事業の売上高を見込んでおりましたが、期中に新規事業であるPontaのマンガ書店サービスの中でWebtoon作品を配信していくこと、AIを活用した横読みマンガの自動コマ認識・分割の研究開発によるWebtoon制作の効率化を図っていくことへと施策が具体化されたことにより、収益への貢献は来期以降に発生する見込みとなったため、期初想定していた売上高より減少いたしました。これに伴い、期初想定していた外注費原価は発生しなくなったため原価が想定よりも減少しました。さらに、既存マンガアプリにおいてはオーガニックでの新規ユーザーの獲得が好調であり、広告単価の上昇時には出稿を抑える等、獲得効率を鑑みながら効率的に広告宣伝費を投下した結果販管費も減少したため、マンガ事業における営業利益は期初想定を上回って着地する見込みとなりました。

エンタメ事業においては、占い事業の成長が牽引し売上高は前年同期を上回って期初想定どおり推移しております。

以上の理由から、通期営業利益、経常利益及び当期純利益が期初想定よりも上振れて着地する見込みとなったため通期業績予想を修正いたします。

(業績予想について)

上記の予想数値は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は様々な要因によって予想数値と乖離する結果となる可能性があります。

以 上